

踏切内歩行体験 1

日 時

2022年4月27日 16時00分～17時00分

場 所

えちぜん鉄道福大前西福井駅東側踏切

目 的

2022年4月25日に奈良県で起きた踏切内での視覚に障がいのある女性の死亡事故について、どのような改善策があるのかを考えるため

活動内容

- ・アイマスクと白杖を使い踏切内や周辺での歩行体験
(・事前にえちぜん鉄道への許可を依頼する
・歩行体験者は手引き者の内側を歩く。
・警報器が鳴った場合には手引き者の判断で速やかに前進して踏切から退去する)



感 想

- ・西福井駅横の踏切は凹凸が多いため、道路ではなく踏切だとわかる（白杖や足が溝にひっかかる）
- ・東側から来る電車と西側から来る（駅で停車する）電車の場合で警報器から遮断機が下りるまでの時間が違う
- ・踏切内で警報器が鳴り始めるとアイマスクをしている人はパニックに近い状態となり、手引きしている人も焦る。

現段階での 解決法	・警報器がなる2カ所の音を違う音にする ・近くにいる人が助けてあげられるような社会をめざす ・「踏切内」ということを示す点字ブロックを作る
次回の 課題	・警報器が鳴り始めてから遮断機が下りるまで、遮断機が下りてから電車が来るまでの時間の計測 ・段差の少ない田原町駅内踏切での体験（道路との違いが分かるかどうかを確認するため） ・校内で2カ所に違う音源をおいて歩行体験（踏切内を想定して）
参加者	福井商業高校JRC部 市橋 奥村 小泉 村野 矢野
ちょっと ほっこり！	・歩行体験中に買い物カートを使っている女性に、踏切を渡る手伝いをお願いされました。 困っていそうな人をお見かけしたら、どんどん、声を掛けていきたいと思います。 